

Teatime



文部科学省認可通信教育



三重学習センター 所長就任のごあいさつ

放送大学三重学習センター 所長

うめかわ はやと
梅川 逸人

2023年4月より放送大学三重学習センター長を拝命しました梅川逸人と申します。私は1986年4月に名古屋大学医学部に採用され、1988年4月に三重大学生物資源学研究所・生物資源学部に異動し、37年間に渡り教育・研究に従事いたしました。部局での最後の4年間は生物資源学研究所長・学部長として、その後は三重大学理事・副学長、三重大学参与・特命副学長として大学の管理運営に携わりました。これまでの経験を活かし、三重学習センターのスタッフの方々とともに、放送大学の学生さんの学習を支援していきたいと考えております。

専門は栄養化学・薬理学・生化学で、若い頃は細胞内情報伝達や細胞増殖に関わるタンパク質の研究に携わり、特に核小体タンパク質の細胞増殖における機能解明を中心に行っておりました。このところは食品に含まれる機能性成分の研究の焦点を当て、企業や地域の自治体との共同研究を展開しております。研究対象とするサンプルは、味噌、醤油、茶、海苔、小豆など日本にゆかりの深い食品で、それらの抽出物や製造過程で得られる未利用資源から生体調節作用を有する成分を取り出し、健康の増進や生活習慣病の予防や改善に役立てる研究を行っています。共同研究を

進めていく上では、相手側の担当者の方々との相互理解が非常に重要だと感じています。

最近、マスコミ等で「リカレント教育」あるいは「リスキリング」がよく話題になっています。人生100年時代と言われていますが、退職後の学び直しや仕事に必要なスキルを身に付けたりなど、様々なステージやタイミングでの学びが注目されています。私はかつて放送大学の学生さんの卒業研究の指導をお引き受けしたことがあり、その方は企業を退職されたあと、放送大学に入学され所定の単位を取得後、卒業研究を履修されました。私の専門分野で卒業研究を行うには生化学の基礎知識が必要なため、卒論に関係する専門書をお渡しして勉強してもらったのですが、その方は非常に熱心に取り組んでおられました。今でも忘れません。

放送大学三重学習センターでは、あらゆる年代や職業を問わず自由に学べる環境が整っています。また、科目履修生から大学院まで様々なレベルのカリキュラムが用意されており、学生の皆さんの学びのステップアップに対応しています。さらに、学生研修旅行やサークル活動等の楽しいプログラムもあります。ぜひ私達と一緒にこの放送大学三重学習センターで学びましょう。

目次

梅川逸人所長 巻頭言	表紙
常 清秀先生 客員教授就任のごあいさつ	P2
谷口裕信先生 客員教授就任のごあいさつ	P3
新入生のみなさまへ	P4～5
三重学習センター教員紹介・セミナーのご案内	P6～12
学習に関するお知らせ	P13
事務室からのお知らせ	P14～15
4月～7月の学習スケジュール	P16
三重学習センターのできごと	P17

学生サークル紹介	P18～19
三重学友同窓会だより	P20
ご修了・ご卒業おめでとうございます！	P21
修了生・卒業生のひとこと	P22～23
学位授与式のようす	P24
清水 真所長 退任のごあいさつ	P25
稲葉忠司先生 退任のごあいさつ	P26
岡田 登先生 退任のごあいさつ	P27
三重学習センターの利用時間 等	裏表紙

客員教授就任のごあいさつ

放送大学三重学習センター 客員教授 じょう せいしゅう
三重大学大学院生物資源学研究科 教授 常 清秀



初めまして、常清秀と申します。2023年4月より三重学習センターで客員教授を務めることになりました。学生相談(毎週木曜日13:00~16:00)、それからほぼ月1回のペースでのセミナー(土曜日10:00~11:30)および年末の面接授業(12月16日から17日)を担当させて頂くことになりました。宜しくお願い致します。

私の専門分野は水産経済学です。特に水産物流通を専攻していましたが、近年、地域漁業や、地域経済が抱えている諸課題を中心に取り上げて調査研究をすることが多くなっています。また、私は中国出身であるため、フィールドは日本だけではなく、中国にも現地調査等で出かけることが度々あります。

三重学習センターでの講義は日本を対象とする内容にしています。もちろん、日本の水産物流通システムへの理解を深めるために、日本以外の国々の状況を知ること大事だと思っており、そのあたりの情報は適宜に講義の中で触れることに致します。

周知のように、近年、水産物は動物性脂質が少なく、たんぱく質や栄養素が豊富であることからヘルシーな食材として注目されており、健康志向の高まりに伴い、世界規模で水産物の消費量が増えています。国内での水産物消費は減少する一方です。なぜ、日本国内の水産物の消費が減少し続けているのでしょうか。(課題①)

また、今日において、一般消費者の水産物の購買先の大半はスーパーマーケットとなっています。漁業者が漁獲、あるいは養殖された水産物は

どのような取引仕組みの中、どのような流通ルートでスーパーに届いているのでしょうか。水産物の購入先がスーパーでない消費者はどのような流通ルートから水産物を調達しているのでしょうか。水産物流通ルートの多様化が進んでいる中、消費者はどのような流通ルートがより望ましいと考えているのでしょうか。さらに、そもそも水産物流通構造はどのように変化し、その変化をもたらした背景と諸要因は何なのでしょうか。(課題②)

さらに、仮に水産物需要が急に増えた場合、現状のままなら、供給面での対応ができるのでしょうか。

水産物資源は自ら産卵し個体数を増やすことができる、いわゆる、自律更新資源の一つです。しかし、その資源量が一定水準を下回ると再生ができなくなるという性質を持っています。農林水産省の統計データによれば、2018年までの30年間、日本の漁業生産量は6割減となっています。それは主に漁船漁業による減少です。天然水産物資源が減少する中、養殖による生産が増えているというものの、自然界の水産資源を漁獲して利用する割合が依然として大きい。このような制約性の強い水産資源の持続的利用(SDGsの実現)において、多くの課題が存在しています。(課題③)

当講義は、今までの水産資源の利用状況、水産物流通の仕組みおよび水産物消費の特徴などについて解説しながら、上記の三つの課題を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

皆様に見えるのを楽しみにしています。

客員教授就任のごあいさつ

放送大学三重学習センター 客員教授 たにぐち ひろのぶ
皇學館大学文学部国史学科 教授 谷口 裕信



2023年4月より三重学習センターで客員教授を務めることになりました。本務校は伊勢市にある皇學館大学で、2006年4月に着任以来、日本近現代史を担当しています。出身は鳥根県、大学・大学院は東京でしたが、本務校に着任するまでは、研究目的でも観光目的でも三重県を訪れたことはありませんでした。しかし早いもので、三重県での暮らしも18年目を迎え、生まれ故郷で暮らしていた期間に並ぼうとしています。

私の専門は日本近現代史、中でも大学・大学院の頃から取り組んできたのは、地方行政史に関する分野です。国レベル、中央省庁レベルで展開される行政ではなく、府県や郡、市町村といった、私たちの日常に身近なレベルでの行政の歴史を扱うのが、地方行政史です。特に私は、府県と町村の中間の位置付けにあった「郡」について、関心を持って研究してきました。郡は今や単なる地理的名称でしかなく、その領域も相次ぐ市町村合併にともない縮小や分断を余儀なくされました。したがって、郡を研究対象とすることを不思議に思われるかもしれません。しかし、だからこそ、研究対象となるのです。明治～大正時代(1870年代末～1920年代半ば)には、各郡に郡役所という官庁が置かれ、郡会という議会が置かれていたのが、なぜ現状のようになったのか。逆に言えば、なぜ当時は地方行政に郡が必要とされたのか、という問いが生まれるでしょう。

もう一つ私が取り組んでいる研究分野は、伊勢御師の近代史です。ご存知のように、伊勢御師は全国各地の檀家に御祓大麻を頒布すると

ともに、檀家の参宮をコーディネートしていた近世期を中心に活動した人たちです。それが明治維新後、伊勢神宮の改革の一環として廃止されてしまいます。では、廃止後の伊勢御師たちは、そして檀家たちはどのような近代史を紡いでいったのでしょうか。それに関連して、参宮客相手の旅館業の近代における展開、宇治山田(現在の伊勢)の都市計画などについても興味を持っています。

以上の2つの研究分野のうち、後者について取り組むようになったのは、本務校に着任後のことです。20年前の私からすれば、まさかこのようなテーマを研究するだろうとは、想像もしなかったでしょう。研究者の問題意識は、自身が置かれている環境に大きく影響を受けるものであることを実感させられます。当面は先ほど述べた2つの研究テーマで手一杯ですが、今後何を研究していくことになるのか、今の自分には見当が付きません。

ただし、三重学習センターにおける様々なバックグラウンドを持つ皆さんとの出会いが、私の中で大きな化学反応を引き起こすだろうことは確かです。セミナーや面接授業では以上の2つの研究テーマについてお話ししますが、皆さんとご一緒に史料を読みながら考える時間を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

新入生のみなさまへ

ご入学おめでとうございます。これから放送大学で学習していくにあたって、ヒントになりそうなことをまとめましたので、ご活用ください。

内容を確認の上、大切に保管してください。



学生生活の栞

放送大学で学ぶにあたって必要な情報を掲載。疑問点が生じたら参考にしてください。

- ・ 学習の流れや方法
- ・ 通信指導／単位認定試験
- ・ 各種手続きについて 等

《印刷教材と一緒に送付》



利用の手引き

学習センターの利用に役立つ情報を掲載。

- ・ 視聴学習室の利用
- ・ 放送教材の郵送貸出
- ・ 図書の利用
- ・ 学内システムの利用
- ・ 単位認定試験過去問題の閲覧方法
- ・ 修得した単位の見方 等

《前学期末在籍者の方に送付》

放送大学での学習の流れをご紹介します。

新入生のための学び方ガイダンス

(放送大学ウェブサイト>在学生の方へ>新入生のための学び方ガイダンス)



学習・学生生活のためのツールをご案内します。活用してください。

システム WAKABA (教務情報システム)

学生専用サイトです。学習や各種連絡の確認・手続きはこちらでできます。[放送大学ウェブサイト](#)からログインして利用できます(詳細は『利用の手引き』P.12)。

(放送大学トップページ)

👉 できること

- 放送授業のインターネット配信：授業の視聴
- 学 内 連 絡：学内連絡の確認
- 各種届出・申請様式：各種様式のダウンロード
- 質 問 箱：主任講師への質問
- 授 業 連 絡：授業に関する連絡の確認
- 学 生 カ ル テ：成績・修得済み単位等の確認



変更・異動手続： メールアドレスや住所等の登録情報の変更、所属学習センター変更、休学の手続き等、なにかを変更したいときはこちら。

自己判定： 所属コースを変更した場合、修得しなければならない単位がどう（シミュレート）変わるかのシミュレーション

このほかにも様々な機能があります。ぜひログインしてのぞいてみてください！



※システム WAKABA は、初回ログイン後、必ずパスワードの変更を行ってください。一定期間後、初期パスワードでのログインはできなくなります。

放送大学自己学習サイト

履修科目以外に、各種教材を使って自由に学習することができます。システム WAKABA にログイン後、「学内リンク」から利用できます。

使える教材

英語：「TOEIC 入門編」「TOEIC 実践編」他
PC スキル：「C 言語スキル判定」「PC 入門シリーズ」「ワープロソフト Word」「表計算ソフト Excel」他
就職試験など：「SPI・CAB・GAB」



(システム WAKABA トップページ)

学内 FAQ

よくある質問をまとめています。システム WAKABA 「キャンパスライフ」から閲覧できます。

電子ブック・電子ジャーナル

本学が契約している電子ブック、電子ジャーナル、データベースなどの電子資料を利用できます。ご自宅でも閲覧できます（一部を除く）。放送大学附属図書館のウェブサイトからアクセスできます。システム WAKABA の ID/ パスワードで利用します。

利用できる電子資料

電子ブック： Maruzen eBook Library / ジャパンナレッジ Lib 等
電子ジャーナル： CiNii Articles / 日経 BP 記事検索サービス / Science Direct 等
データベース： 聞蔵 II ビジュアル / 日本古典文学大系 DB / 日本国勢図会 / 理科年表プレミアム 等



(放送大学附属図書館トップページ)

三重学習センター客員教員によるセミナー・公開講演会

三重学習センター所属客員教員のセミナー、公開講演会をご案内します。

三重学習センターには所長と6名の客員教員がいます。先生方は面接授業やセミナー、公開講演会での講義を担当されています。また、学習センターへの出勤日に学習相談することも可能です。出勤日は各先生のページ「学習相談」の項目でご確認ください。(お休みの場合もあります。)

○各ページ項目のご紹介

学習相談

所長・客員教員に学習相談ができます。先生方それぞれの専門分野に関わる相談の他にも、授業のことや、大学生活のことなど、お気軽にご相談ください。ご希望の方は学習センターまでお申し込みください。

お申込み 必要事項を記入した「学習相談票」を添えて、希望相談日の1週間前までに、下記のうちいずれかの提出方法で、三重学習センターまでお申し込みください。

〈提出方法〉

- ①三重学習センターへ来所
- ②FAXで送信(送信先:059-233-1179)
- ③E-mailで送信(送信先:mie-sc@ouj.ac.jp)

学習相談票データは
こちらから→



セミナー

客員教員の専門分野について、1年で全5回の講義を受けることができます。放送大学の学生のみ受講可能で、受講料はかかりません。全ての回を受講する必要はなく、好きな回をみの受講も可能です。ご希望の方は学習センターまでお申し込みください。

お申込み 電話・FAX・E-mailのいずれかにて。必要事項「お名前、学生番号、希望の講座名と日にち、連絡のつきやすい連絡先(電話・メールなど)」を添えてお申し込みください。

※1学期開催分のみ申込受付中。2学期開催分の申込開始日については、Teatime7月号でお知らせします。(開始日は9月以降を予定しています。)

公開講演会

客員教員が年に1回行う講演会で、学生の他に一般の方もご参加いただけます。ご家族やお友達に放送大学が気になっている方がいらっしゃったら、ぜひお誘いいただき一緒にご参加ください。

お申込み 電話・メール・来所・WEBのいずれかにて。必要事項「お名前、お電話番号、お住まいの市町、メールアドレス(お持ちの場合)」を添えてお申し込みください。

WEB申込は
こちらから→



※申込開始日は、各先生のページ「公開講演会」の項目でご確認ください。

教員紹介

学習相談日 火曜～土曜日 10:00～17:00



うめ かわ はや と
梅川 逸人 三重学習センター所長

専門 栄養化学・薬理学・生化学

学習相談日 水曜日 13:00～16:00



あ べ あきら
安部 彰 先生 専門 哲学・倫理学

三重学習センター客員准教授／三重県立看護大学看護学部准教授

セミナー 現代の倫理問題を哲学する

現代ではテクノロジーの発展や価値観の多様化により倫理問題はますます複雑な問題になりつつあります。本セミナーでは、私たちをとりまいているそれら問題の要点を紹介しつつ哲学的に探究します。(各回定員 16 名)

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第1回 倫理学とはなにか	倫理学は倫理や道徳にかかわる事象を探求する哲学です。では倫理学とはどのような学問なのか。倫理学の目的について解説します。	6月3日(土) 10:00～11:30 小研修室1
第2回 なぜ倫理学を学ぶのか	倫理学はなぜ必要なのか。倫理学を学ぶことでどのような利得が得られるのか。倫理学の意義について解説します。	7月1日(土) 10:00～11:30 小研修室1
8月以降のセミナー ・第3回「安楽死の倫理学」9月2日(土) 10:00～11:30 ・第4回「生殖医療の倫理学」令和6年2月17日(土) 10:00～11:30 ・第5回「動物の倫理学」令和6年3月9日(土) 10:00～11:30		

公開講演会のご案内 (定員24名) ★お申込み：7月5日(水)～

看護の倫理学	現代における専門職としての看護者の倫理とはどのようなものなのでしょうか。『看護職の倫理綱領』を倫理的に読み解きながら、その要点をみていきます。	8月5日(土) 10:00～11:30 中研修室
--------	---	--------------------------------



学習相談日 金曜日 9:00~12:00

うめ ぎき てる ひさ
梅崎 輝尚 先生

専門 作物学

三重学習センター客員教授／三重大学大学院生物資源学研究科教授

セミナー

作物のはなし

身近な作物（イネ、マメ、イモ類）について、三重県における生育特性や利用方法に関わるちょっとしたお話を紹介します。（各回定員 16 名）

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第 1 回 マメのはなし 1 (生育について)	身近にあるマメ類について詳細に観察すると思いきや新しい新たな発見があります。「もやしと豆苗はどう違う?」、「落花生の花はどこに咲く?」など、いろいろなマメ類の特徴について紹介します。	5月20日(土) 14:00~15:30 小研修室 1
第 2 回 マメのはなし 2 (品種について)	マメ類の中でも日本人に最も関係の深いダイズについて、あまり知られていない在来品種、育成品種、育成中の系統の生育や品質などの特徴を紹介します。	6月10日(土) 14:00~15:30 小研修室 1
8 月以降のセミナー ・第3回「マメのはなし 3 (いろいろな品種の観察)」8月5日 (土) 14:00~15:30 (三重大学にて開催予定) ・第4回「イネのはなし」10月28日 (土) 14:00~15:30 ・第5回「イモのはなし」令和6年3月9日 (土) 14:00~15:30		

公開講演会のご案内 (定員24名) ★お申込み: 11月9日(木)~

気候変動と食糧生産	地球温暖化など気候変動が重要な社会問題となっている現在、改めて過去の気候変動と食糧生産の関係を見直し、社会情勢と作物や品種の多様性について考えます。	令和6年 2月3日(土) 14:00~15:30 中研修室
-----------	--	--





学習相談日 木曜日 13:00~16:00

じょう せいしゅう

常 清秀 先生

専門 水産経済学・水産物流通

三重学習センター客員教授／三重大学大学院生物資源学研究科教授

セミナー

生鮮食料品の流通

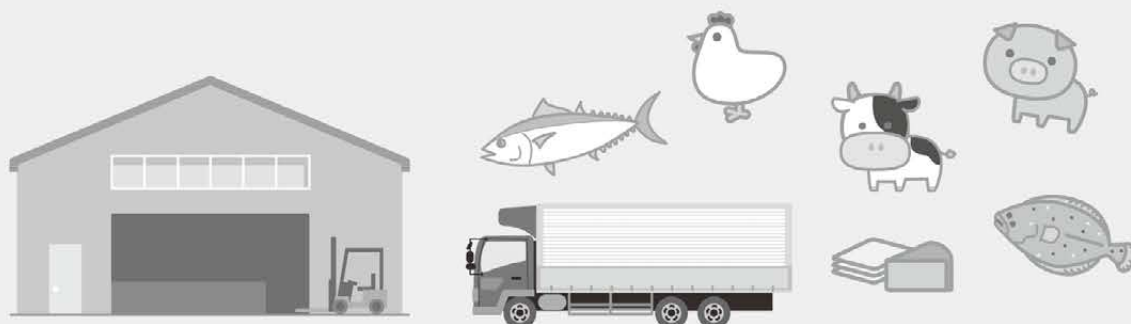
なぜ流通が必要なのか。本セミナーは、流通の機能、役割、およびその仕組みについて解説し、特に生鮮食料品の流通の仕組みと特徴、および関連制度について紹介します。(各回定員 16 名)

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第 1 回 なぜ流通が 必要なのか？	流通の定義、流通の基本的仕組み、および流通の機能（商流・物流・情報流）と役割について、わかりやすく解説します。	5月20日(土) 10:00~11:30 小研修室 1
第 2 回 商流・物流・ 情報流について	商流、物流、情報流のそれぞれの定義とその概要について、解説します。なお「商流」については主に取引の流れ、取引の形態と仕入れ形態、「物流」については、主に物流の活動内容、「情報流」については、主に情報流の内容と情報伝達のプロセスについて説明します。	7月8日(土) 10:00~11:30 小研修室 1
8 月以降のセミナー ・第 3 回「生鮮食料品の流通構造とその特徴」8 月 19 日（土）10:00～11:30 ・第 4 回「卸売市場流通の仕組みとその制度設計」9 月 9 日（土）10:00～11:30 ・第 5 回「卸売市場外流通拡大の要因」10 月 7 日（土）10:00～11:30		

公開講演会のご案内

(定員16名) ★お申込み：11月9日（木）～

生鮮食料品流通 システムの再構築に ついて考える	食品全般において、流通の多チャネル化とグローバル化が進んでいます。また、流通の合理化と効率化が一層強く求められている今日において、卸売市場流通を中心とする生鮮食料品の流通システムの再構築も求められています。当講演では、食品流通分野において、生鮮食料品流通システムの再構築に関する議論を皆さんに紹介しながら、消費者の観点から、望ましい流通システムの構築について、皆さんと一緒に議論し、考えていきます。	12月9日(土) 14:00~15:30 小研修室 1
--------------------------------	---	-----------------------------------





学習相談日 木曜日 10:00～12:00

たに ぐち ひろ のぶ

谷口 裕信 先生

専門 歴史学（日本近代史）

三重学習センター客員教授／皇學館大学文学部教授

セミナー

伊勢御師と檀家の近代

全国各地に檀家を抱え、神宮への参宮をコーディネートした伊勢御師。近代になると明治政府によって廃止され、檀家との関係は断ち切られます。御師廃止の実態はどうだったのか、伊勢御師の事例をいくつか取り上げながら、検討してみたいと考えています。（定員 16 名）

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第 1 回 御師廃止の背景と その影響	1871年（明治4）の御師廃止について、その背景には何があり、廃止によってどのような変化が生じ、あるいは影響があったのかを考えます。	6月3日(土) 14:00～15:30 小研修室1
第 2 回 御師廃止と 内宮方御師岩井田家①	御師廃止当時に岩井田家の当主だった尚行は、その後、旧檀家との関係の再構築に乗り出します。御師廃止前の関係性との相違点、類似点について見てみましょう。	7月8日(土) 14:00～15:30 小研修室1
8 月以降のセミナー ・第3回「御師廃止と内宮方御師岩井田家②」9月16日（土）14:00～15:30 ・第4回「御師廃止と外宮方御師龍家」10月14日（土）14:00～15:30 ・第5回「御師廃止と外宮方御師橋村家」12月16日（土）14:00～15:30		

公開講演会のご案内 （定員24名）★お申込み：11月9日（木）～

伊勢御師廃止後の 宇治山田旅館業	伊勢御師が担っていた旧檀家の宿泊は、御師廃止によって自由化されました。参宮者と旧御師との関係性が流動化し、また神宮が国家管理下に置かれるといった近代の宇治山田に及んだ変化が、当地の旅館業に与えた影響について考えます。	令和6年 3月2日(土) 14:00～15:30 中研修室
---------------------	--	--





学習相談日 火曜日 9:00～12:00

た ばた けん た ろう

田畠 健太郎 先生

専門 アメリカ文学

三重学習センター客員准教授／三重大学人文学部准教授

セミナー

英語セミナー

英語の基本的な文法や語彙を確認しながら、日常の会話や文章から文学作品の英語まで、さまざまな種類の英語を読んで、多様な言語表現を学び体験するとともに、自分の興味にあわせて独力で英語の勉強が続けられる基礎力を身につけます。(各回定員 16 名)

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第 1 回 TOEIC®リスニング 問題の会話英語	国際ビジネスコミュニケーション協会主催の TOEIC® テストのリスニング問題を題材に、日常的な状況での英語会話表現を学び、慣用的な表現を覚えます。	5月13日(土) 10:00～11:30 小研修室 1
第 2 回 TOEIC®リーディング 問題の文章英語	国際ビジネスコミュニケーション協会主催の TOEIC® テストのリーディング問題を題材に、広告やメールなど日常的な状況での英語文章表現を学び、慣用的な表現を覚えます。	6月10日(土) 10:00～11:30 小研修室 1
8 月以降のセミナー ・第3回「オクティヴィア・E・バトラーの『血を分けた子ども』を読んで訳す」 10月21日(土) 10:00～11:30 ・第4回「アンブローズ・ビアスの『月明かりの道』を読んで訳す」 12月9日(土) 10:00～11:30 ・第5回「F・S・フィッツジェラルドの『グレート・ギャツビー』の冒頭を読んで訳す」 令和6年2月3日(土) 10:00～11:30		

公開講演会のご案内

(定員24名) ★お申込み：7月5日(水)～

人間と共感ー フィリップ・K・ディック 『アンドロイドは電気羊 の夢を見るか?』を てがかりに	映画『ブレード・ランナー』の原作でもあるフィリップ・K・ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』(1968 年)の読解をたよりに、「共感」や「感情移入」とはどのようなものか、「人間性」とは何か、などのテーマについて考えてみます。	8月26日(土) 10:00～11:30 中研修室
---	---	---------------------------------





学習相談日

水曜日 9:00~12:00

やま ぐち

まさ ずみ

山口 昌澄 先生

専門

臨床心理学・教育心理学

三重学習センター客員教授／高田短期大学教授

セミナー

心の育ちの諸側面

心理発達について、さまざまな切り口から紹介します。学問的知見に基づきつつ、子育てや教育等、身近なトピックにも関連づけながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。(定員 16 名)

回 タイトル	概 要	開催日時 会場
第 1 回 発達理論の効用と限界	ピアジェの認知発達理論は、現在も大きな影響力をもちますが、さまざまな批判的論争、研究も引き起こしました。それらの紹介も通して、あらためて「心の発達」をどのように捉えるか、検討していきます。	5月27日(土) 14:00~15:30 小研修室 1
第 2 回 言語の力、思考の力	心理学において、言語と思考の発達は、深く結びついているとされています。関連する諸研究を紹介しながら、子どもとの望ましいコミュニケーションのあり方について考えていきたいと思います。	6月24日(土) 14:00~15:30 小研修室 1
8 月以降のセミナー ・第 3 回「これからの子ども達に求められる力ー社会情動的スキル」 9月2日(土) 14:00~15:30 ・第 4 回「自我・自己・社会の関係」 10月21日(土) 14:00~15:30 ・第 5 回「育ちのつまづき」 11月4日(土) 14:00~15:30		

公開講演会のご案内

(定員24名) ★お申込み：11月9日(木)～

子どもに 「なんで…するの？」と 言ってしまう、 あなたへ～甘えと自立、 カウンセリング マインドの観点から～	子どものすることや考えは、大人にとっては容量も悪く、理解しづらいかもしれません。精神分析学的概念「甘え(土居、1971)」をキーワードに、子どもの心理や行為の理解を深め、どのように接していくのか検討したいと思います。	12月23日(土) 14:00~15:30 中研修室
--	--	---





学習に関するお知らせ

● 通信指導について

参照 『学生生活の栞』

学部 P.62～65 大学院 P.64～67

通信指導問題は、放送授業・印刷教材の一定の範囲から出題されます。

問題は、基本的に印刷教材と一緒に発送しますが、**5月9日(火)までに届かない場合**は本部まで連絡してください。(総合受付:043-276-5111)

また、一部の科目を除き、システムWAKABAにて通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web通信指導」が利用可能です。「Web通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合は、郵送による提出は不要です。

通信指導提出期間

郵 送

5月16日(火)～5月30日(火)《本部必着》

Web 通信指導

5月9日(火)10:00～5月30日(火)17:00

★通信指導に合格しなければ
単位認定試験が受験できません。
提出期限にご注意下さい！



● 2023年度第1学期 面接授業の追加登録について

2023年度第1学期面接授業のうち、定員に空きがある科目について追加登録を行います。ご希望の方は、同封の案内に沿って申し込みをしてください。



● 図書の貸出、放送教材 (CD・DVD) について

図書の貸出 ▶手続きの詳細:『2023年度 利用の手引き』P.10

図書の室外貸し出しは大学本部で一括して行っています。取り寄せた図書は自宅配送もしくは学習センターのいずれかで受け取ることができます。

放送教材の貸出 ▶手続きの詳細:『2023年度 利用の手引き』P.11

BS 放送が受信できない、インターネット環境がないなど、ご家庭などに放送教材を視聴する環境がない場合でも、放送教材 (CD・DVD) を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。※学習センターでは室外・郵送貸出を行っていません。



事務室からのお知らせ

● 学生証について

参照 『学生生活の栞』
学部 P.18～19 大学院 P.24～28

学生証は、視聴学習室の利用や単位認定試験の受験、面接授業の追加登録の際などに必要です。新たに交付を受ける方、また学生証の有効期限の切れた方は、学習センター窓口でお渡しいたします。(郵送での交付を希望される方は、三重学習センターウェブサイトをご覧ください。)

- ★2023年度第1学期に
新規入学・継続入学の方 ⇒入学許可書を提示してください。
- ★在学中で学生証の有効期限が
2023年3月末で切れた方 ⇒有効期限切れの学生証を持参してください。

顔写真の登録をされていない方は、「写真票」(『学生生活の栞』学部巻末様式11、大学院巻末様式10)を郵送していただくか、システム WAKABA の「学生カルテ」から直接顔写真の登録をお願いします。郵送の場合、本部で電子化作業を行うため、学習センターで学生証を発行できるまでには2週間ほどかかります。

有効期限は全科履修生の場合は2年間、選科/科目履修生は在学期間(1年間/半年)です。

● 全科履修生、修士・博士全科生にかかる学割の適用について

全科履修生及び修士・博士全科生の方が自宅から学習センターに通学する場合等、次の交通機関では学割の適用を受けて、一般普通回数乗車券(回数券)を通常料金の2割引で購入することができます。

・ JR ・ 近畿日本鉄道 ・ 三岐鉄道 ・ 伊勢鉄道

※三重交通は学割の適用はありません。
※学割の申請が可能な通学方法、区間及び経路は一つに限ります。

また、JR、近畿日本鉄道については、面接授業の受講等で利用する場合、片道区間が100kmを超えるときは、普通乗車券を通常料金の2割引で購入することができます。

購入時に必要な「学生旅客運賃割引証(学割証)」は、学習センターで発行しますので、事前に事務室で申請手続きを行ってください。学割証の交付を受けたら、学生証を添えて各交通機関の駅(窓口)で購入してください。

詳しくは、事務室までお問い合わせください。

なお、交通機関以外の学割については、一部の公的な施設(国立・県立の美術館、博物館など)で、全科履修生、修士・博士全科生の方だけでなく選科・科目履修生、修士選科・科目生の方にもご利用いただけます。

学割適用の有無は各施設にご確認ください。



● 各種届・願出について

『学生生活の栞』（学部・大学院）の巻末や、システムWAKABAに各種届出の様式があります。

① 住所等変更届（システム WAKABA から届出可能）

参照 『学生生活の栞』 学部 P.84(巻末様式4) 大学院 P.81、85(巻末様式3)

「現住所」や「連絡先の電話番号」に変更があった場合は、必ず速やかに届出を行ってください。

《郵送の場合》

学部 全科・選科・科目履修生〔提出先：三重学習センター〕

大学院 修士全科生・博士全科生〔提出先：大学本部教務課大学院研究指導係〕
修士選科生・修士科目生〔提出先：大学本部学生課入学・履修係〕

※「現住所」に変更があった際は併せて最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

② カリキュラム移行届

2015年度以前入学の学部全科履修生の方が対象です！（システム WAKABA から届出可能）

参照 『学生生活の栞』 学部 P.53、82(巻末様式1)

移行手続きに際しては、必ず事前にシステム WAKABA の『カリキュラムシミュレート（シミュレートのみ）』を用いて卒業に必要な単位数はどれくらいあるのかを確認し、十分に検討ください！

【 郵 送 】 2023年度第2学期からの変更(移行):4月20日(木)～6月7日(水)《必着》
〔提出先：大学本部学生課入学・履修係〕

【 WAKABA 】 2023年度第2学期からの変更(移行):4月20日(木)9:00～
6月7日(水)24:00《必着》

③ 諸証明書交付願

参照 『学生生活の栞』
学部 P.97～99(巻末様式9、10) 大学院 P.92～94(巻末様式8、9)

各種証明書の発行をご希望の方は、手数料（1通につき200円）を添えて三重学習センターに提出してください。※教員免許状申請用は発行に時間を要します。

《郵送で申し込む場合》

下記①②③を同封して、放送大学三重学習センター宛てにお送りください。

- ① 諸証明書交付願
- ② 手数料（手数料相当分の郵便定額小為替、または現金送付の場合は必ず現金書留）
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に宛名明記、84円切手貼付
※発行枚数が複数の場合、94円切手貼付）

4月

- 1 (土) 第1学期スタート
単位認定試験の学習センター受験 申請開始 (～5/24)
- 15 (土) 面接授業空席発表
- 20 (木) ～ 面接授業追加登録期間開始 (～各科目受付期限)
- 22 (土)・23 (日) 面接授業「グローバル化と食の経済学」(森)
面接授業「心理学実験1」(山口)

5月

- 1 (月) 集中科目履修生(司書教諭)出願受付開始 (～5/31)
- 9 (火) 通信指導提出受付開始《Web》(～5/30)
- 16 (火) 通信指導提出受付開始《郵送》(～5/30)
- 13 (土) セミナー「TOEIC®リスニング問題の会話英語」(田嶋①)
- 13 (土)・14 (日) 面接授業「カウンセリングの基礎」(高崎)
面接授業「物忘れ予防と認知症予防」(井出)
- 20 (土) セミナー「なぜ流通が必要なのか？」(常①)
セミナー「マメのはなし1(生育について)」(梅崎①)
- 20 (土)・21 (日) 面接授業「規範倫理学」(安部)
面接授業「わかる高分子入門」(伊藤)
- 24 (水) 単位認定試験の学習センター受験 申請締切《必着》
- 27 (土) セミナー「発達理論の効用と限界」(山口①)
- 27 (土)・28 (日) 面接授業「フランク・ロイド・ライトの建築」(富岡)
面接授業「食と栄養」(三島)
- 30 (火) 通信指導提出締切《Web》17時まで《郵送》必着
- 31 (水) 集中科目履修生(司書教諭)出願締切

6月

- 3 (土) セミナー「倫理学とはなにか」(安部①)
セミナー「御師廃止の背景とその影響」(谷口①)
- 3 (土)・4 (日) 面接授業「新・初歩からのパソコン」(張)
面接授業「韓国語-基礎から中級へ」(有吉)
- 10 (土) ～ 10月入学生出願受付第1回開始《Web・郵送》(～8/31)
セミナー「TOEIC®リーディング問題の文章英語」(田嶋②)
セミナー「マメのはなし2(品種について)」(梅崎②)
- 17 (土)・18 (日) 面接授業「国際法上の武力行使」(柳原)
面接授業「心理学実験3」(小池)
- 24 (土) セミナー「言語の力、思考の力」(山口②)
- 24 (土)・25 (日) 面接授業「SDGsの経済学」(渡邊茂)

7月

- 1 (土) セミナー「なぜ倫理学を学ぶのか」(安部②)
- 1 (土)・2 (日) 面接授業「伊勢信仰を支えた御師」(岡田)
- 8 (土) セミナー「商流・物流・情報流について」(常②)
セミナー「御師廃止と内宮方御師岩井田家①」(谷口②)
- 8 (土)・9 (日) 面接授業「セラピストとして考えること」(丸山)
面接授業「メディア英語リスニング」(渡邊聡)
- 15 (土) ～ 大学院・学部 単位認定試験 (～7/25)
- 16 (日) 面接授業追加登録期間終了
- 25 (火) 大学院・学部 単位認定試験最終日《Web》17時まで《郵送》必着

※予定を変更する場合がございます。最新の情報は三重学習センターホームページでご確認いただくか、直接お問い合わせください。



三重学習センターのできごと



● 放送大学三重学友同窓会主催 パソコン教室を開催しました

2月14日(火)、放送大学三重学習センター多目的教室にて、パソコン教室が開催されました。2022年度3回目の開催となる今回は、システムWAKABAを使った科目登録を扱いました。

参加者は、講師の学生から丁寧な説明を受け、ひとつずつ科目登録の行程をたどっていきました。普段はパソコンに触らない方もいる中、最後には、全員がシステムWAKABAで科目登録ができました。

システムWAKABAで科目登録をすると、成績を確認後でも余裕をもって科目登録が出来たり、申請期間内なら科目の変更ができたりします。「挑戦してみたいけれど、パソコンが苦手で…」という方はぜひ、来年度も開催予定のパソコン教室をご活用ください。



● 愛知・岐阜・三重 センター所長連続講演会を開催しました

3月4日(土)、愛知岐阜三重3学習センターの所長による連続講演会が開催されました。愛知学習センター氏家所長、岐阜学習センター野々村所長、三重学習センター清水所長がそれぞれ専門分野の講演をし、その様子を愛知学習センターでは対面、岐阜・三重学習センターでは中継でお届けしました。

異なる分野の講演を2時間に凝縮するという盛りだくさんな時間でしたが、参加者のみなさんは熱心に聞き入っていました。



● 2023年度第1学期 入学者のつどいを開催しました

3月26日(日)、三重県総合文化センター中研修室にて、入学者のつどいを開催しました。この日は2023年度第1学期の新入生12名が参加しました。はじめに、学長からのメッセージ動画を視聴、次に、梅川新所長からのご挨拶がありました。それから、事務長より学習センターの利用や、放送大学での学習について、説明がありました。

入学者のつどい終了後は、大研修室に移り、在學生と新入生との「学生交流会」が開催されました。これから始まる大学生活に向けて不安なことはありませんか、という在學生からの問いかけや、体験談を共有するなど、あたたかい雰囲気の会となりました。



学生サークル紹介

✿ アートのひろば

私たちサークルのテーマは、“アートって何だろう？”です。
春と秋の「学生交流会」に併せて応募作品を展示・披露し、作品に対する制作意図などを発表し合いながら和気藹々と交流しています。

募集部門は次の五部門です。【空間芸術『書・写真・美術・工芸（含華道、拓本、彫刻）』4部門】と、【時間芸術『ひびき部門：「詩・文学」の朗読や「川柳・俳句・短歌」など韻律による文芸作品をはじめ、「楽器演奏・詩吟・民謡・ボーカル」など音楽関係』1部門】です。

「アートのひろば」は、ジャンルを超えて融合し、刺激し合う自己表現の世界を楽しみながら交流する集団です。ぜひ、作品展の様子をご覧ください、私たちと一緒にポストコロナに向かったサークルを楽しみましょう。

問い合わせ先：川西 彰 059-255-5505 e-mail : a_kawa24@yahoo.co.jp
川合 久雄 059-245-2617 e-mail : h-2617ka@beige.plala.or.jp



✿ 歩こう会

会員相互の親睦と「最高の健康法は歩くこと」を合言葉に、山野、古道、旧街道、宿場町、各地の文化財探訪などを行っています。

過去に実施した行事は「青山高原」、「神島」、「熊野古道の各地」、「名張市、伊賀市の文化財探訪」、「奈良井宿」、宇陀市「万葉の阿騎野路」、「室生寺、佛降寺」、「桜花爛漫の水都大垣」、「大台ヶ原」、「紅葉の聖宝寺」、「野麦峠」、「山岳景勝の上高地」、「伊勢神宮内宮宇治橋初渡り」、「鈴鹿山系御池岳登山」、「四季桜と和紙の里小原町」、「乗鞍岳畳平」、「吉野上中下奥千本桜」、「中央アルプス駒ヶ岳千畳敷カール」、国立公園「尾瀬ヶ原」、穂高連峰の登山基地「涸沢ヒュッテ登山」、富山県「立山室堂雪の壁」、「五箇山合掌集落」、東近江市「近江商人のふるさと」、名松線で伊勢奥津の桜まつり、黄檗山万福寺の宝蔵院見学など散策を行ってきました。

毎月大学の掲示板に行事予定を貼付しますので、ご希望の方は参加して下さい。

【活動日程】開催頻度：月1回 ※但し、単位認定試験月および8月の真夏の季節は除く。

問い合わせ先：鈴木 正夫 059-386-8592、090-1279-0655 前川 尚三 0595-64-0131



✿ 古典文学研究会

新年度のテーマは『徒然草』（吉田兼好）の輪読学習です。使用するテキストは、原文を訳文と新校訂の内容で構成した作品『徒然草』（島内裕子著）です。著者は放送大学教授で、関連著作には『徒然草の変貌』『徒然草の内景』『徒然草の遠景』の3部作のほか『兼好』があります。是非一読願いたいので、お薦めします。

「徒然草を読む」と言うことは、先ず原文を繰り返し愛読することであり、本文を最初から最後まで通読してほしいという強い願いから出発しているものです。（島内裕子著『徒然草』より）

私達の学習が進んだ時点で文学探訪を計画しています。伊賀市種生、常楽寺を訪ねて兼好の終末伝説の由来や現場の学習、「兼好塚」の見学を予定しています。多数の方の参画を期待しております。

例会開催：月1回（毎月第3金曜日10～12時、学習センター多目的教室）

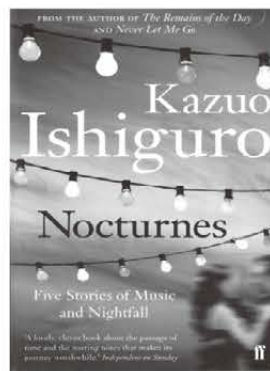
問い合わせ先：市川 雄二 059-358-0743



🌸 気軽に英語を！

毎月1回の例会を開催しています。「話す」は午前中に「各自のトピックス」の話題提供と「NHKラジオ英語会話」をテキストにして初歩的なスピーキングを練習します。午後は「読む」で、2、3か月ごとに作品を変えているようなジャンルの英文を読んでいます。今は近代英米作家の短編集を楽しんでいます。

誰もが少しの努力で、気軽に英語を楽しむことをモットーにしています。このところ毎回の出席者は数名にとどまっていますので、皆さまのご参加をお待ちいたします。



例会開催：月1回（毎月不定の木曜日10～12時、13～15時、学習センター多目的教室）
 問い合わせ先：中田 一穂 059-378-3959 e-mail: nkkz@crux.ocn.ne.jp

🌸 談風会

「談風会」は「談論風発」をモットーに、いろいろな意見や議論を通じ仲間づくりの楽しい気楽な集まりで、新聞・マスコミでの話題、歴史、文学、身近な関心ごとなど幅広いテーマを話題にしています。最近のテーマは「“カメラで音楽を撃つ” 木之下晃と“北の大地のおくりもの富良野” シェフとマダムのお話」「“氷壁” 鑑賞とモデル石岡繁雄」「大東亜戦争下の国民学校や日常生活・私の健康管理と皆様の健康度は？」「“ほっぼや” 鑑賞と浅田次郎」などを楽しみました。

開催は下記日程。学習センターの掲示板に毎月掲示していますので気軽に御参加下さい。メールで個別に案内ご希望の方は、問い合わせ先までお電話又はメールを下さい。



例会開催：月1回（第3金曜日13:30～15:30、学習センター多目的教室）
 問い合わせ先：林 光男 090-2681-1380 e-mail: kumataro55@za.ztv.ne.jp

🌸 中国文化を語る会

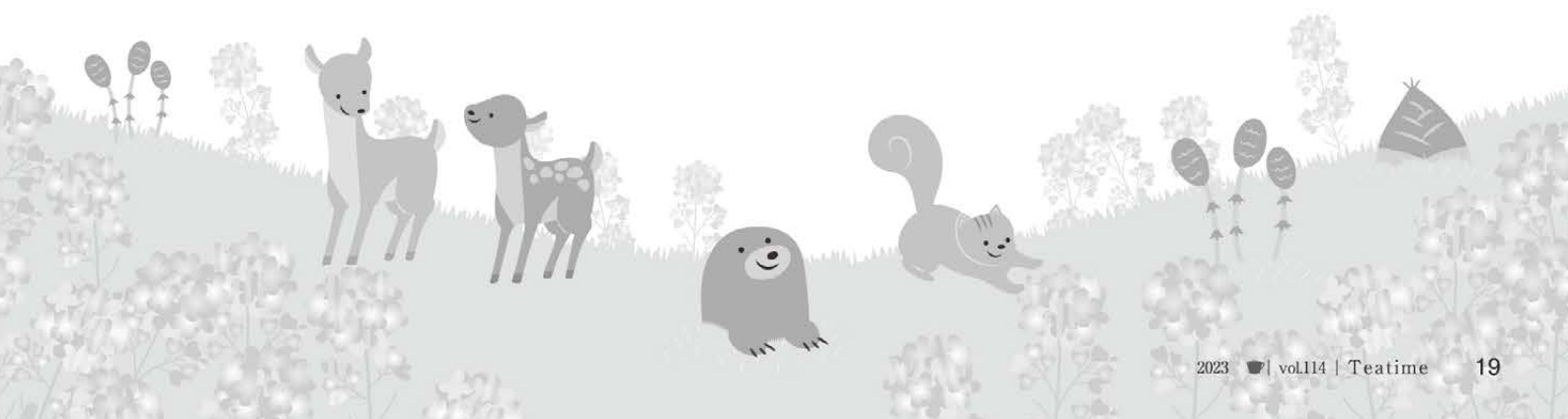
現在休会中

もし再開希望などのご意見や問い合わせなどがあれば、下記へ連絡をお願いします。

問い合わせ先：中田 一穂 059-378-3959 e-mail: nkkz@crux.ocn.ne.jp

サークル活動について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、サークル活動を休止する場合があります。最新の活動状況は、三重学習センターウェブサイトや、学習センターの掲示板などでお知らせします。



*2023年度年次総会と公開講演会のご案内

第9回三重学友同窓会年次総会が、5月11日(木)に三重県総合文化センター生涯学習センター棟 視聴覚室において開催されます。提案議案は1週間前までにHPにアップされます。出欠は総会案内で示す方法をお願いします。

総会後の公開講演会は、演題「ロシアのウクライナへの侵攻の背景」、講師(中野潤三氏)で開催されます。

講演会には在学生会はもちろん一般の方々の参加も歓迎ですから三重学習センター事務局までお申し込みください。

*「学生忘年茶話会」でのアンケートから

12月9日(金)に举行された参加者からの声です。22名の参加者の内はじめての参加は3名で、会費1,500円は妥当との回答でした。プログラムでは「ビンゴ」とキーボードの伴奏つきの歌唱、特に初めて聞いた「放送大学歌」は大好評でした。

開催は、平日の午後がよく、又、参加者を増やすには、知人から知人への口コミ効果が非常に有効なので、早期に日程設定をしてほしい等の希望がありました。

次回開催の参考にいたします。23年度は12月13日(水)を予定しています。



2022年12月9日 学生忘年茶話会

*「春の学生交流会」が盛大に開催されました

2023年3月26日(日)に举行された「春の学生交流会」は、「学位授与式」及び「入学者のつどい」終了後の14:00～15:00に「入学者との交流会」、15:30～16:20に「卒業生との交流会」が開催されました。交流会には学生や学友同窓会員など合計67名が集まり有意義な集会になりました。

同会場に展示された「アートのひろば」の作品も力作揃いでした。



2023年3月26日 春の交流会

*パソコン教室&パソコン同好会 今後の予定(同封の予定表をご覧ください)

【パソコン教室】

放送大学のシステムWAKABAの使用方法を学びます。予定日は、年3回の開催で2023年度は6月1日、8月2日、2024年2月13日です。

【パソコン同好会】

ワード、エクセルを中心にパソコンを楽しく活用することを学びます。定例開催日は、第1及び第3木曜日の午後です。



パソコン同好会 2023年2月

参加者の声

初めてパソコンで科目登録をして…;

Aさん「科目登録がその場で早くできてよかったです。今期の受験科目の結果判定が、どうなったのか見方も教えて貰い参考になりました。」

初めて単位認定試験を経験して…;

Bさん「パソコンは所有していませんが、同好会で何度も練習し、しっかり教えてもらって、無事受験できました。感謝!」

放送大学三重学友同窓会のホームページ <https://www4.hp-ez.com/hp/hmie/>
(最新のニュースやお知らせがアップされています。常時チェックしましょう!)

「趣味サロン」へのお誘い

毎週第3火曜日 13:30～ 多目的教室において開催されています。参加申し込みは不要です。

当面の予定:4月18日、5月16日、6月20日、7月18日です。

ご修了・ご卒業おめでとうございます!

2022年度第2学期、三重学習センターからは大学院4名の修了生、教養学部34名の卒業生が誕生しました。教職員一同心よりお祝い申し上げます。



2022年度第2学期 学位記授与式 (2023年3月26日)

大学院

生活健康科学プログラム	2名
人間発達科学プログラム	1名
情報学プログラム	1名



教養学部

生活と福祉コース	7名
心理と教育コース	13名
社会と産業コース	3名
人間と文化コース	6名
情報コース	4名
自然と環境コース	1名

修了生・卒業生の ひとこと



2022 年度第 2 学期

修了生・卒業生から
メッセージを
いただきました。



放送大学に入ったきっかけは、職場でDNAシーケンスとかいう言葉を聞き、分からなかったので、勉強しようというのが始まりです。そこから、どっぷりハマってしまいました。その頃は、単位認定試験もぶっつけで、過去問もなく、再試験を受けた科目もよくありました。でも学習センターで出会った人と話す機会はあり楽しかったです。次は情報コースを受講します。皆様、学習センターの方々、今後ともよろしくお願いします。

生活と福祉コース卒業 NSさん(70代)

心理学を学ぶため入学し、3年半。仕事との両立は辛いこともありましたが、家族に支えられ、卒業することができました。ご指導いただいた先生方、お世話になった職員の皆様に改めて御礼申し上げます。コロナ禍でも、お会いしてお話しできた学友の皆さんには、大きな勇気をいただきました。中でも、在学中に認定心理士の資格を取得できたこと、望外にも心理実習・演習で憧れの先生方に直接指導をいただき、29名の同土と知り合えたことは一生の財産です。卒業後も選科履修生として心理学を学び続けます。これからもよろしくお願いいたします。

心理と教育コース卒業 松崎耕一郎さん

選科履修生として入学し、4年経過した頃に、サポートセンターの方の助言を頂き、大学を卒業する目標が出来ました。平成29年度から全科履修生となり、夜勤業務もあり、学期中は2科目選択して単位習得を心掛けました。最後の外国語科目の単位習得に久しぶりの教科で苦心しました。昨年初めて面接授業を受講した朝、緊張していた所、学習センターの方々に激励して頂き、乗り越える事が出来この度、卒業を迎えることとなりました。先生、職員の方々、大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。未来への礎となりますように。

生活と福祉コース卒業 manekinekoさん

私は三重県に放送大学が誕生した翌年の1995年の春に入学しました。無理をせず、少しずつ履修して、卒業しましたが、22年もたってしまった、2017年でした。それから5年、2度目の卒業となりました。長い間続けて来られたのは、ここで出会えたお友達とサークルのお陰でした。古典文学研究会での、物語のゆかりの地へのバス旅行はいつもたのしい旅でした。コロナ禍で、何もかもが停滞してしまい、今後どうなるかわかりませんが、又ゆっくりと学び、サークル活動も楽しみたいと思っています。

心理と教育コース卒業 福井登茂子さん(70代)

無事に卒業することができました。コロナ禍の中で入学しましたが、面接授業等の開催や運営に尽力いただいた放送大学や学習センターの関係者の皆様本当にありがとうございました。

生活と福祉コース卒業 安藤勲さん(40代)

大変なこともありましたが、自分のペースで勉強したかった心理学や文学を学べ、卒業できました。面白い講義がたくさんありますので在校生の皆さんも楽しんで学んでくださいね。

心理と教育コース卒業 鈴木彩香さん

この春、目標の大学卒業資格を取得する事ができ、大変嬉しく思います。学習センターが身近にあり、学費負担が少ない放送大学のおかげです。先生方、事務の方々、家族に感謝しています。ありがとうございました。

心理と教育コース卒業 Fujinoさん(50代)

私が放送大学への入学を決めたのは、2年半前2020年の秋でした。コロナ禍でそれまで当たり前できていたことができなくなった時でした。私はとても落ち込み、私自身の状況を内省しました。これまでの人生でやり残した事を考えたのです。短期大学を卒業し社会人となった私は大学への憧れがあり、それを今からでも叶える方法があるということを知りました。

学習を進める中で特に印象に残ったのは心理学実験の授業です。同じように勉強している素晴らしい仲間たちと直に交流できた事は大きな励みになりました。目標であった卒業まで一気に進むと決め、こつこつ単位を取り、今回卒業できることになりました。協力してくれた家族に感謝です。

心理と教育コース卒業 洋子さん(50代)

最後の受講科目「原初から／への思索（'22）は難しかった。テキストを読み返しても理解できず、通信指導の結果も散々であった。実際のテストは記述式で、パソコンに向かうも、哲学用語はなかなか変換できず、その上視力が衰えて、悪戦苦闘。何とか合格をもらえた。

人間と文化コース卒業 こえびさん(80代)

傘寿を迎え冥土の土産としてデジタル社会に興味を持ち、情報コースの勉強を始めたところ、チャットGPTに逢着し、正解のある社会から正解のない社会へ突入することになる様子。百花斉放、楽しい時代を満喫すべき。今後は、時代の流れに任せ、頭が錆びずに終末を待ちたいと思います。

狩野清孝さん(80代)

何も趣味を持たないので定年を機に、「人間と文化コース」に編入学することにしました。日本の歴史・文学・宗教を改めて学習し、日本のことを僅かながら理解できたように思います。しかし、元来の不精な性格で、通信指導や単位認定試験の前には毎回追い込みの勉強をしなければならず苦労しました。

私の住んでいるところから、三重学習センターまで120kmあり、面接授業や以前の単位認定試験の時は、津市内のホテルに宿泊していました。近年、単位認定試験がインターネットのWeb受験方式になって大変楽になりました。

今までいろいろお世話になりましたが、来期から心新たに継続入学しようと思っています。

人間と文化コース卒業 倉本逸郎さん(70代)

私の目標は放送大学6コース卒業するのに、744単位以上を取って卒業することでした。その数字は卒業単位数124を6倍した数字です。19年かかりましたが、その目標を達成できました。放送大学での学びは、娘を授かった時、「乳幼児心理学」の授業を見たのがきっかけでした。見るだけではおもしろくない、きちんと授業料払って単位を取ろうと思い、仕事の傍ら、学生生活を続けてきました。いま、娘は大学生となりましたが、高校時代から放送大学の科目履修を続けています。面接授業で受けた老年心理学がきっかけで、今は認知症のことに興味をもって学んでいます。今後も選科履修生として親子で学び続けようと思っています。

情報コース卒業 須曾野仁志さん(60代)

ご寄稿いただいた皆さま、
ありがとうございました！





学位記授与式の ようす

2023年3月26日

三重県総合文化センター中研修室で開催した
学位記授与式のお写真を紹介します。



13名の修了生・卒業生が出席しました



清水所長による式辞です



三重学友同窓会・中田会長から
ご祝辞をいただきました



学位記が授与されます



複数コースを卒業
された方への
所長特別表彰です



修了生・卒業生代表謝辞のようす



退任のごあいさつ

放送大学三重学習センター 所長

しみず まこと
清水 真



2018年4月から5年間、三重学習センターの所長を務めさせていただきました清水と申します。思えば凡そ5年ほど前、当時の三重大学事務局長の尾藤広幸さんから電話があり、「今から学部長室に行くけれど在室ですか」という内容でした。私は「尾藤さんが来るまでは、必ず部屋にいます」と即座に答えました。当時は三重大学工学部の学部改組の佳境の時でしたので、何か面倒な内容でないと良いなと思いながら、待ちました。尾藤さんが学部長室に來られてから暫くは、学部改組の話で盛り上がりましたが、突然「もう次の就職先は決まりましたか」と尋ねられました。実は東京のある私立大学に決まっていたので、「大体決まりそうです」と答えましたが、尾藤さんは残念そうに、「放送大学という就職先があるけれどどうか」とさらに尋ねられました。2、3日待ってもらった後、放送大学に就職することをお伝えしました。これが私の放送大学との最初のコンタクトの時でした。それからあっと言う間に5年間で過ぎてしまいました。本来ならば何々をしました等々、色々とし遂げたことを話すべきですがそんな話もなく、なんとか大過なく過ごせたことを感謝すべきだと思っております。

前理事の岡田先生とは在職中に、番組を7本くらい作ると話しあっていましたが、新型コロナウイルス感染症などの影響で、4本に止まってしまったのが心残りです。また機会がありましたら、ぜひ生涯学習支援番組などでご協力させて頂け

ましたら幸いです。番組制作に当たっては、サイバーネットワーク様のご協力で、ブルースタジオ等何度も使わせていただき、番組作成はこんな感じでやっているのだと理解できたことが、今でも大変役に立っております。

三重学習センターでは、できるだけ履修生の人数を増やしてくださいと、前々の事務長の森本さんから事あるごとに言われていました。まだ十分に履修生を増やすことができずに大変申し訳ございません。履修生の人数に関しては、退任後も極めて微力ながらご協力する所存ですので、引き続きよろしくお願いいたします。また、前所長の上野先生とは先生が留学していた当時の、レニングラード(サンクトペテルブルグ)の様子を何度も聞かせていただき、ロシアと言う国の様子がなんとなく理解できたことが、現在のウクライナ侵攻の原因を理解し易くなったことに繋がっていると思います。

最後になりましたが、新年度からは新所長の梅川先生のもとで新たにスタートすると伺っています。ぜひとも、素晴らしい三重学習センターに発展することを、心から祈っております。



退任のごあいさつ

三重学習センター 客員教授
三重大学大学院工学研究科 教授

いなば ただし
稲葉 忠司



令和5年3月をもちまして三重学習センターの客員教員を退任することになりました。センター所長の清水先生はじめ、職員の皆様方には大変お世話になり、本当にありがとうございました。退任に際しまして、一言ご挨拶させていただきます。

平成30年4月からの5年間にわたり、面接授業、セミナーおよび学習相談を担当しておりました。セミナーでは、「医学・医療の分野で役立つ工学研究・技術」をテーマとして話題提供してきました。このセミナーですが、通常は対面形式での開催であるため、新型コロナウイルス感染拡大の当初は、まん延防止重点措置等が出ると中止せざるを得ない状況でした。そこで、一昨年度後半に、三重学習センター教職員の努力によりZoomでのオンライン（あるいはハイブリッド）開講を試みました。すると、これまでは数名程度の受講だった私のセミナーに、他県からの参加も含めて十数名の申し込みがあり、内容についての温かい感想もいただきました。「コロナ禍においても学びを止めない」との教職員の思いが、この達成感に繋がったものと思います。

面接授業では「材料力学」に関する授業を担当させていただきました。本務の大学では、機械工学科の学生に対し、「機械や構造物の設計にあたっては、製作されたものが使用期間中に破壊したり、大きく変形したりしないようにしなければなりません。機械や構造物に用いられる部材がもつ破壊に対する抵抗を強度と呼び、また

変形に対する抵抗を剛性と呼びます。十分な強度と剛性を有する安全な機械・構造物を設計するためには、材料力学の知識が必要です。よって、材料力学は、将来機械エンジニアを目指す君たちにとって必須の学問です！」と言えば、比較的簡単に学習意欲を高めることができます。しかし、放送大学の受講生の中には、教養としてこの授業を受講する方もおられますし、一方で、業務で活かせる知識を得たいという思いで受講する技術者の方もみえます。そのような幅広いバックグラウンドをもつ方々に、いかに満足していただける授業を提供できるかについて常に意識した5年間でした。その結果良い授業が提供できたかどうかについてはひとまず置いておいて、この経験は、私の中の授業に対する向上心を高める上で、大変良い機会となりました。

「達成感」や「向上心」を感じることは人生においてとても大切なことです。放送大学は、「学び」を通して、生涯にわたって「達成感」や「向上心」を感じることもできる場所だと思います。今後の三重学習センターの益々のご発展を祈念しております。



退任のごあいさつ

平成30年4月、客員教授として、木曜日1時からの学習相談、年1回2日にわたる面接授業、年6回のセミナーを担当させていただきました。

私の専門は、日本考古学・日本古代史・伊勢大神宮史で、面接授業やセミナーでは、三重学習センターでしか学べない三重県に関することをテーマに選びました。学習相談では、年2～4人の方と話をさせていただき、歴史を学ぶことへの強い関心と意欲を持っておられる方に出会いました。セミナーは、コロナウイルス禍で、中止や延期、聴講人数の制限、ビデオ録画での放送などもありました。また、Teatimeには、新天皇即位・令和改元・ウイルス禍・伊勢参宮などを、歴史的に振り返ることをテーマにして、3回ほど執筆させていただきました。執筆号のいくつかは、私の担当している伊勢や津の市民講座などで、聴講されている方に差し上げ、放送大学について紹介させていただきました。

特に、記憶に残るのは清水所長の病氣療養中、職務代行者として卒業式の式辞と入学生への言葉を述べさせていただいたことです。式辞では、日本最大の大学は、一般に7万4,000人ほどの在学生がいる日本大学といわれていますが、放送大学は全国にわたって8万4,000人ほどの学生がいる日本最大の大学であること、また入学試験の無い、誰でも学べ、学士・修士・博士の学位が取得でき、放送を通じて学べるという先進的な大学であることを確認しました。公設民営の私学ですが、最高齢の卒業生が101歳の方で、学んだことを今

三重学習センター 客員教授
皇學館大学 名誉教授

おかだ のぼる
岡田 登



後社会で生かそうとされていることに大変驚きました。日本の大学は、入学試験で全力を使い果たし、入学後の学びの目的を見失っても、簡単に卒業できると言われています。放送大学で学ぶことは、本当に大変だと思いますが、「真の学び」があると思います。ただ、教室を共にし、学友との交流を深め、学生生活を楽しむという面では不利ですが、サークル活動に入り積極的に大学生活を楽しんでおられる方がいることも知りました。私は歴史を学ぶ上で大切なことは、「百聞は一見に如かず」ということで、史蹟や遺跡を見学することを多くの人に勧めています。学生研修旅行では、見学時間を大幅に超過しましたが、普段知ることのない内宮の宮域を案内し、熱心に聞いていただきました。

5年間にわたりお世話になった清水所長をはじめ職員の方々、および学びの中で私に関わった学生の皆さんに、お礼を申し上げます。これからも命絶えるときまで、共に学びを続けていきたいと思っています。なお、既にTeatime第113号で紹介されていますが、7月には非常勤講師として、「伊勢信仰を支えた御師^{おんし}」をテーマに、面接授業を担当します。江戸時代に、北海道南端の松前から九州の鹿児島まで、伊勢信仰を伝えた御師について、幅広く話したいと思います。興味のある方は、どうぞ。

放送大学三重学習センターの益々のご発展をお祈り申し上げます。

三重学習センターの利用時間



視聴学習室・事務室窓口

9:00～17:30

※感染状況によって変更となる場合があります。来所の際は三重学習センターホームページで確認してからお越しください。

※三重学習センターの閉所日は「毎月曜日」「国民の祝日」「三重県総合文化センター休館日」「年末年始（12月29日～1月3日）」です。詳しくは利用の手引きP.21～「学年暦」をご確認ください。

三重学習センターご利用の際には次のことをお願いしています。

- ・発熱やせきなどの症状がみられる場合は来所をご遠慮ください。
 - ・マスクの着用をお願いします。
 - ・アルコール消毒液を設置していますので、手指消毒をお願いします。
 - ・来所者の把握のため、入り口での確認にご協力ください。
 - ・15分以上滞在される方につきましては、検温にご協力ください。
- ※来所後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに三重学習センターに報告し、聞き取りに協力してください。

三重学習センターを確認してください！

お知らせは、三重学習センターウェブサイトでお伝えします。こまめにウェブサイトを確認するようにしてください。

【三重学習センターウェブサイト】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/mie/>



三重学習センター職員紹介

4月より、下記の職員で力を合わせてまいります。よろしくお願いします。

- センター所長 梅川 逸人
- 事務長 井上 暢浩
- 事務職員 芳賀 敏孝 小西 孝博 宮崎 政志 赤塚 聖子
- 窓口職員 西野 三穂

【退職者】センター所長 清水 真

事務職員 田中 章 大野 美穂 堀越 千晶

今までお世話になり、
ありがとうございました。



放送大学三重学習センター

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
三重県総合文化センター内
生涯学習センター棟 4F

TEL 059-233-1170 FAX 059-233-1179
Eメール mie-sc@ouj.ac.jp

ティータイム
Teatime

2023年4月 第114号

